

も そうじゃ 令和8年6月定例会版

議会だより

2026.8
vol.87

令和8年8月1日発行(年4回)



9月定例会市議会の予定	日程	内容
	9月1日(火)	開会
	9月7日(月)	一般質問
	9月8日(火)	一般質問
	9月9日(水)	一般質問
	9月10日(木)	一般質問・質疑
	9月11日(金)	委員会
	9月14日(月)	委員会
	9月15日(火)	委員会
	9月25日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集 民生委員児童委員協議会の声を聴く 2ページ

主な内容 6月定例会市議会 3ページ

一般質問 6ページ

委員会活動報告 15ページ

意見交換会を開催

令和8年4月21日、市役所議会棟第1委員会室にて、総社市民生委員児童委員協議会15名・広聴広報委員6名による意見交換会を開催しました。民生委員児童委員の活動状況や地域の課題について、意見をお聞きしました。

■主な意見・課題

- (1)高齢者支援・見守り活動
- ・高齢者宅訪問や給食サービスを通して見守り活動の実施
- ・独居高齢者だけでなく、高齢夫婦世帯への支援
- ・山間地域では訪問時の移動負担が大きい



(2)移動支援・公共交通

・公共交通が不十分な地域では、通院や買い物に苦慮しているため、ライドシェアによる買い物支援の取組も行っている

(3)担い手不足

- ・民生委員の後継者不足
- ・仕事を持つ世帯が多い
- ・業務が多岐にわたり、負担が多い

(4)個人情報・支援体制

- ・個人情報観点から、必要な情報共有が困難
- ・支援を拒否されることもあり、地域と行政をつなぐ役割の難しさ

■意見交換会で認識したこと

民生委員児童委員の方々が、地域福祉を支える重要な役割を果たしていることを改めて認識しました。

一方で、高齢化や地域のつながりの希薄化などの社会環境の変化により、民生委員児童委員の負担は増加しており、後継者不足や支援体制など、

多くの課題があることも共有されました。



今後も、地域の実情や現場の声を踏まえながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けた取組が必要なことと、地域の方々の活動支援への理解と協力をどう周知するのかが課題になります。

地域を知ることができた。感謝されることにやりがいを感じるなど、活動に対する良い意見も多く聞かれ、地域福祉を支える重要な役割を担う民生委員児童委員の後継者が増えることを期待します。

(川 鯨 仁宣)

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[令和8年4月～令和8年6月分]

(単位:円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
お供	4/22	10,000	前総社市議会議員香典
		12,000	前総社市議会議員生花
激励金	6/1	10,000	第72回岡山県消防操法大会出場分団激励慰問金
4月からの累計		32,000	

6月定例会市議会

6月定例会市議会が6月12日に開会し、議案11件、報告14件、承認4件、同意16件、意見1件、請願1件、陳情1件、議員発議1件の審査を行い、7月1日閉会しました。

議案第44号 財産の取得について

□総社市消防本部において必要な高規格救急自動車を買約3千880万円で購入することを全会一致で可決しました。

議案第46号 財産の取得について

□GIGAスクール構想※1に基づき、児童生徒が授業で使用する学習用端末を買約4億3千4百万円で購入することを全会一致で可決しました。



議案第49号 令和8年度総社市一般会計補正予算(第2号)

□私立保育所などの施設整備に対する国庫補助金の交付基準が引き上げられたことに伴い、約5千440万円を増額。□きびアリーナと武道館の空調使用開始に伴い、令和8年7月から9月までの周知期間は利用者から使用料を徴収しないことから、その間の光熱費を指定管理者へ補償するための650万円を計上。

□DV被害などにより、母子生活支援施設入所に係る費用の増加が見込まれるため、約480万円を増額。

□教育支援センター長について、当初は再任用職員を配置する予定だったものが、会計年度任用職員となったため、人件費など約380万円を増額。

□旧維新幼稚園及び旧維新小学校プール跡地、旧維新小学校校舎の利活用事業について、公募型プロポーザル※2を

実施するための予算として約256万円を計上。

□阿曾地内の県道271号線拡幅工事に伴う電柱の移設により、共架している光通信線を移設するための委託料として約146万円を計上。

□経済的理由で入院助産を受けることができない妊産婦の助産施設入所措置費の増加が見込まれるため、106万円を増額。

以上の補正予算を、全会一致で可決しました。

議案第51号 令和8年度総社市下水道事業会計補正予算(第1号)

□下水道管復旧工事において、修繕費の不足により工事請負費から流用していた金額を、当初予定していた事業を執行するため補填するものと、管路及びマンホール更生工事の一部前倒しで実施するものとして2億4千5百万円を増額。

専決処分の承認について

□総社市税条例の一部改正か

ら、令和7年度総社市一般会計補正予算(第12号)までの4件について、全会一致で承認しました。

同意について

□固定資産評価員1名を選任、農業委員15名を任命することに同意しました。

報告について

□令和7年度予算のうち年度内完了が見込めない、下原砂古排水管敷設工事ほか9件の工事費の繰越し、総社市スポーツセンターきびアリーナ外空調設備設置工事の工事請負金額の増額による工事請負変更契約の締結、一般財団法人そうじゃ地食べ公社の経営状況についてなど14件の報告がありました。

請願・陳情について

□地方財政の充実・強化を求める請願書採択、道路拡幅時における買い取り条件について規定している市の内規について検討を願う陳情書書を不採択としました。

※1 GIGA スクール構想：学校のICT環境を整備し、教育の質を向上させ、全ての子どもたちの力を最大限に引き出すことを目的とした文部科学省の取組。
※2 公募型プロポーザル：発注者が広く提案を募り、価格だけでなく、提案内容や企業の技術力、実績などを総合的に評価して最適な業者を選定する方式。

番 号	件 名	結 果
同 意 第 23 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 24 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
意 見 第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推 薦 に 同 意
請 願 第 1 号	地方財政の充実・強化を求める請願書	採 択
陳 情 第 2 号	道路拡幅時における買い取り条件について規定している市の内規について検討を願う陳情書	不 採 択
議 案 第 53 号	令和 8 年度総社市一般会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
議案乙第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原 案 可 決

令和 8 年 6 月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等		議員名																						議決結果
		川 鱒 仁 宣	竹 下 かな こ	柴 田 敏	大 月 真 一	林 恭 一 郎	山 名 正 晃	太 田 善 介	荒 木 将 之 介	小 野 耕 作	山 田 雅 徳	溝 手 宣 良	三 上 周 治	萱 野 哲 也	岡 崎 亨 一	深 見 昌 宏	高 谷 幸 男	小 西 利 一	津 神 謙 太 郎	村 木 理 英	加 藤 保 博	剣 持 堅 吾		
陳 情 第 2 号	道路拡幅時における買い取り条件について規定している市の内規について検討を願う陳情書	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
議案第53号	令和8年度総社市一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	

〔凡例〕 賛成：○ 賛成でない：× 退：退出 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 三宅啓介議員は、議長のため採決には加わりません。

令和 7 年度政務活動費収支報告書集計表

(単位:円)

議員氏名	交付額	調 査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資 料 作成費	資 料 購入費	人件費	事務所費	合 計
川鱒 仁宣	210,000	0	0	0	0	0	0	0	46,915	0	0	46,915
竹下かなこ	210,000	0	0	0	0	0	0	0	11,495	0	0	11,495
柴田 敏	210,000	0	0	8,200	0	0	0	0	18,800	75,000	30,000	132,000
大月 真一	210,000	33,529	0	0	0	0	0	0	14,670	0	0	48,199
林 恭一郎	210,000	9,350	9,884	0	0	0	0	25,713	44,228	0	0	89,175
山名 正晃	420,000	0	6,319	350,640	0	0	0	0	0	0	0	356,959
太田 善介	420,000	27,609	70,140	0	119,800	0	138,698	38,370	2,270	0	0	396,887
荒木将之介	420,000	6,316	0	121,460	0	0	0	0	0	0	0	127,776
小野 耕作	420,000	154,660	72,140	0	0	0	0	21,747	2,270	0	0	250,817
山田 雅徳	420,000	0	70,140	101,643	0	0	0	0	0	0	248,325	420,108
溝手 宣良	420,000	600	0	0	0	0	0	1,127	109,896	0	35,411	147,034
三上 周治	420,000	0	0	315,106	0	0	0	61,931	11,880	0	0	388,917
萱野 哲也	420,000	0	0	340,000	0	0	0	81,400	5,170	0	0	426,570
三宅 啓介	420,000	0	4,000	0	0	0	0	11,123	33,292	0	0	48,415
岡崎 亨一	420,000	29,600	66,240	8,578	0	0	0	2,100	0	0	0	106,518
深見 昌宏	420,000	6,600	64,800	0	0	0	0	0	33,000	0	0	104,400
高谷 幸男	420,000	128,679	0	247,475	0	0	0	12,547	160,046	0	0	548,747
小西 利一	420,000	0	0	0	0	0	0	0	35,280	0	0	35,280
津神謙太郎	420,000	0	0	0	0	0	0	0	11,880	0	60,432	72,312
村木 理英	420,000	429,000	0	88,000	0	0	0	0	26,922	0	0	543,922
加藤 保博	420,000	83,256	0	0	0	0	0	0	35,280	0	0	118,536
剣持 堅吾	420,000	75,907	70,140	0	0	0	0	0	74,606	0	0	220,653
森安 健一	210,000	0	0	211,926	0	0	0	0	0	0	0	211,926
仁熊 進	210,000	25,043	0	0	0	0	0	4,400	8,210	0	0	37,653
小川 進一	210,000	6,270	0	88,880	0	0	0	0	0	0	0	95,150
頓宮美津子	210,000	2,000	57,002	0	0	0	1,500	0	5,300	0	0	65,802
山口 久子	210,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9,240,000	1,018,419	490,805	1,881,908	119,800	0	140,198	260,458	691,410	75,000	374,168	5,052,166

※令和 7 年度は市議会議員選挙があったため、上半期、下半期に分けて 210,000 円ずつ交付しています。
※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

令和 8 年 6 月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	件 名	結 果
報 告 第 3 号	繰越明許費について（令和 7 年度総社市一般会計予算）	報告を受けた
報 告 第 4 号	繰越明許費について（令和 7 年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算）	報告を受けた
報 告 第 5 号	予算の繰越しについて（令和 7 年度総社市水道事業会計予算）	報告を受けた
報 告 第 6 号	予算の繰越しについて（令和 7 年度総社市下水道事業会計予算）	報告を受けた
報 告 第 7 号	総社市土地開発公社の経営状況について	報告を受けた
報 告 第 8 号	一般財団法人そうじゃ地食べ公社の経営状況について	報告を受けた
報 告 第 9 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 10 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 11 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 12 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 13 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 14 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 15 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 16 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
承 認 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（総社市税条例の一部改正）	承 認
承 認 第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（総社市都市計画税条例の一部改正）	承 認
承 認 第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（総社市国民健康保険税条例の一部改正）	承 認
承 認 第 5 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度総社市一般会計補正予算（第 12 号））	承 認
議 案 第 43 号	総社市税条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 44 号	財産の取得について	原 案 可 決
議 案 第 45 号	総社市体育施設条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 46 号	財産の取得について	原 案 可 決
議 案 第 47 号	総社市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 48 号	総社市手数料条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 49 号	令和 8 年度総社市一般会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
議 案 第 50 号	令和 8 年度総社市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 51 号	令和 8 年度総社市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 52 号	市道の路線認定について	原 案 可 決
同 意 第 9 号	固定資産評価員の選任に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 10 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 11 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 12 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 13 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 14 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 15 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 16 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 17 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 18 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 19 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 20 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 21 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意
同 意 第 22 号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	同 意

問 带状疱疹ワクチンで市の制度を利用すると国制度を利用できないのはどうか

答 ちょっと考えさせてほしい



おかざきこういち
岡崎亨一

高齢者用肺炎球菌ワクチンについて

問 定期接種の対象年齢はどうか。
市長 令和8年度は65歳の方のみになっている。

RSウイルスワクチンについて

問 定期接種になった内容はどうか。
市長 妊娠28週から36週の間に、妊婦さんに赤ちゃんのために接種していただくことになっている。この接種期間のみ無料である。

防災対策について

問 新しい防災気象情報の以前と変わった内容はどうか。
市長 警報の前にレベルが付くようになった。新たに危険警報が追加された。
問 地域防災計画が国・県において見直しとなったが、本市ではどうなるのか。
市長 見直しをしているところである。災害レベルが明確になり、より具体的な避難計画が求められると思う。

問 地域防災の担い手同士の連携を強化し、地域防災力を高めるための仕組みをどう構築するのか

答 市がハブとなる「防災連絡会議」を設置し、団体連携と役割分担を進め、地域防災力を高める



やまだまさのり
山田雅徳

地域防災の担い手の活用と連携について

問 地域防災を担う団体や人材が、それぞれの強みを生かし、連携を深める仕組みが必要ではないか。
市長 役割分担を明確にし、平時から顔の見える関係づくりを進めていく。

地域防災の担い手育成について

問 学生が卒業後も地域防災の担い手として活動できる仕組みが必要ではないか。
市長 危機管理課や防災連絡会議を通じ、卒業後も地域防災への参加を後押しする。

学校施設の避難所運営体制について

問 学校施設を指定避難所とするため、学校、地域、行政の役割を共有すべきでは。
教育長 学校運営協議会を活用しながら関係者の共通理解を深め、円滑な避難所運営につなげていく。

空家等活用促進区域について

問 空家等活用促進区域を指定することで、どのような効果が期待できるのか。
市長 規制が緩和され、空き家の賃貸や店舗などへの活用が進むことが期待できる。

中心市街地のまちづくりについて

問 空家等活用促進区域の指定により、中心市街地の活性化をどう進める考えなのか。
市長 商店街通り界限地区を指定し、地域や事業者と連携しながら、空き家活用とにぎわい創出を進めていく。

問 スポーツを通じて笑顔があふれるまちづくりについてどう思うか

答 市民が笑顔で暮らしていけることが市政の背骨の部分だと思う



ふかみまさひろ
深見昌宏

問 スポーツ・文化を通じて笑顔があふれるまちづくりについてどう思うか。

教育長 私は長年にわたり子どもたちの文化・スポーツ活動に携わり、活動を通じて人間力の向上、生きる力や喜び、友情を育み人生の経験を積んでいく必要があるものだと感じている。

問 市が把握しているスポーツ団体数や人数はいくらぐらいあるか。

市長 行政が把握してるスポーツ協会は21団体、スポーツ少年団は20団体程度、清音スポーツクラブは17団体程度 全体の人数は3,176人ほど確認している。

問 発達障がい児や高齢者が無理なく参加できるインクルーシブスポーツ(*)をもっと推進すべきであると思うがどうか。

市長 スポーツ分野、福祉分野を通じてインクルーシブは肝の政策である。

教育長 インクルーシブスポーツは大変重要なことだと考えている。

問 東総社駅の西側踏切や北側改札口の進捗状況はどうか。

市長 どういった方法が可能か踏切のスクラップ&ビルドを含めてJR等関係機関との協議を進めているところである。

※インクルーシブスポーツ：障がいや年齢、性別、文化的背景に関係なく誰もが平等に参加できるスポーツ。



令和8年6月定例市議会では、6月18日から6月23日の4日間にわたり、市政に対する一般質問が行われ、17人の議員が諸問題について質問しました。発言順に掲載します。

1 番	ふかみまさひろ 深見昌宏	議員	6 ページ
2 番	やまだまさのり 山田雅徳	議員	7 ページ
3 番	おかざきこういち 岡崎亨一	議員	7 ページ
4 番	はやしきょういちろう 林恭一郎	議員	8 ページ
5 番	みづてのぶよし 溝手宣良	議員	8 ページ
6 番	かやのてつや 萱野哲也	議員	9 ページ
7 番	おおたぜんすけ 太田善介	議員	9 ページ
8 番	たけしたかなこ 竹下かなこ	議員	10 ページ
9 番	かとうやすひろ 加藤保博	議員	10 ページ
10 番	おおつきしんいち 大月真一	議員	11 ページ
11 番	むらきりえい 村木理英	議員	11 ページ
12 番	しばたさとし 柴田敏	議員	12 ページ
13 番	こにしりいち 小西利一	議員	12 ページ
14 番	やまなまさあき 山名正晃	議員	13 ページ
15 番	かわひれよしお 川緒仁宣	議員	13 ページ
16 番	たかやゆきお 高谷幸男	議員	14 ページ
17 番	あらきまさのすけ 荒木将之介	議員	14 ページ

問 迅速な手続きのためにノンストップ窓口を設けてはどうか

答 働き方改革の視点、市民本位、カスハラ※の視点で検討していく



おお だ ぜん すけ
太 田 善 介

ワンストップ窓口について

問 人的リソースは十分か。

市長 令和8年4月より増員している。

財産管理状況について

問 無駄や問題点はどうか。

市長 問題点はかなりある。草刈りや安全対応などコストが多くかかる。

問 財産取得時や変更時にFM※のことを考え処理をしているか。

市長 研究させていただき、検討していきたいと思う。

問 施設の管理や方針を集中的に住民の意見を取り入れながら管理運営していく体制を作るのはどうか。

市長 当然やっていく。庁内で調整していく。

放課後児童クラブ運営について

問 市全体のクラブ運営委員会数を減らし部分的に民間事業者に複数クラブ運営を移管するような抜本的な変革の考えはないか。

市長 令和8年から令和10年以降には民間の事業者の中で良いものを選択していく考えはあるが、ビジネス色の強いものは適さないかもしれない。

問 学校法人などを中心に複数クラブ運営していくのはどうか。

市長 良い考えだと思う。

※FM：ファシリティマネジメントの略。学校や公民館などの公共施設を長期的に保全・利活用するための管理手法。

問 地食べ公社のふるさと納税米事業の利益率はいくら見込んでいたのか

答 把握していなかった



かや の てつ や
萱 野 哲 也

問 私が公社の予算案を基に収支を計算したら、令和3年度からずっと赤字予算が組まれている。補助金を出すことで黒字になる。市はずっと見過ごしてきたのか。

市長 ふるさと納税部分の赤字については認識していなかった。

問 公社の代表理事片岡氏も分からなかったのか。

市長 分からなかった。

問 ずさんな経営だ。赤字の理由はどうか。

市長 米の概算金が分からなかった。

問 令和3年度予算がまずかったならば、それ以降改善するべきだが、分からなかったとして令和7年度まで赤字予算が組まれていることが問題だ。

市長 そういうことだった。

問 米の発送にかかる収支はどうか。

部長 赤字だ。

問 これまでの米取引の1者随意契約※は違反ではないか。

部長 そうじゃ地食べ公社が適していた。

問 公社への1者随意契約は間違いだったから令和9年度からは改めることにしたのでしょ。

部長 関係性が不確かな点や指定取消しを受けたことから改善した。

※随意契約：国や地方公共団体が、競争入札によらず、任意に特定の相手方を選択して締結する契約方法。

問 ガラス張り公開市長室はどうなったか。また、どのようにして市民の意見を収集しているのか

答 ガラス張り公開市長室は再開する。意見収集は市HPや市民提案箱、住民アンケート等で行っている



みぞ て のぶ よし
溝 手 宣 良

問 新庁舎に問題点はないか。また、改善をすべきではないか。

市長 案内看板は追加した。1階の床が車椅子で進みにくい等駄目な点を改善するのはやぶさかではない。

問 ガラス張り公開市長室について一昨年は再開を明言、昨年は「担当部局と相談する」と答弁されたが未実施だ。

市長 ガラス張り公開市長室は再開する。規模感は検討していく。

問 シルバー人材センターへの意見はどこに言えば良いのか。

保健福祉部長 長寿介護課が窓口となる。

問 ごみ捨てに困っている人が増えてきたが収集方法や場所の検討はどうか。

市長 現状の理解はした。今後の検討だ。

問 住宅火災で住居を失った方の当面の住居を市営住宅等で助けられないか。

市長 空き状況を確認し可能なら利用していただくようにする。また、ショートステイを利用していただく。

問 卒業式や入学式の主役は誰なのか。また目的は何か。

市長 主役は子どもたち一人一人、目的は努力を称え郷土愛を育み、市民全体で歓迎し、未来への希望を抱かせる場と認識している。

問 卒入学式にビデオメッセージは必要か。

市長 ビデオメッセージはやめる。

問 安全確保という観点から、旧清音公民館への対応は急ぐべき課題と考えるが、市長の認識はどうか

答 老朽化が著しく進んでおり、危険な状態であると改めて認識した。重要課題と認識している



はやし きょう いち ろう
林 恭 一 郎

問 旧清音公民館について、以前、他の議員の質問に対し、市長は「新庁舎が完成したら解体する」と答弁されたと思うが、そういう答弁はあったか、確認したい。

市長 そのような趣旨の答弁をしている。旧清音公民館が危険な状態であることは、まぎれもない事実である。ただし、この場で解体の可否を申し上げることは差し控えたい。今後、公共施設マネジメントの中で検討し、施設の存続が不適切との結論になれば、それに従う方針である。

問 観光について、名勝豪溪を観光資源としてどのように捉えているか。

市長 重要な観光資源であると考えている。登山家の野口健さんからも「ここは大事にした方がよい」と提言をいただいている。

問 駐車場不足や交通渋滞、トイレ、飲食、渋滞状況の発信など課題がある。どのように捉えているか。

市長 池田小学校からのシャトルバスの運行や駐車場の問題、渋滞・混雑状況の発信、飲食の在り方、どれも重要なテーマだ。

問 清音地区の屋外スピーカーについて、令和7年11月議会で市長は「前向きに検討する」と答弁されたが、進捗状況はどうか。

市長 チャイムの設置については、約600万円の費用がかかり、また反対の声もあることから、設置しない方向で考えている。

問 教育特区は、岐路に立っていると思うがどうか

答 今が系統立って考え直すときである。誰もが驚くような教育特区第2ステージを展開していきたい



むら き り え い
村 木 理 英

問 英語特区での学びを活かした大規模校との連携(小小連携)は有意義であると思う。これを持続可能にするには何が必要か。

教育長 移動手段の確保と継続することと教員の負担軽減である。

問 移動手段として活用できるものは、何があるか。

市長 ふんだんにある。例えば、雪舟くんや市バスやJR。多くの方の同意によって展開し、足りなければ、新たな予算を投入し作らなければならない。

道路行政について

問 YouTubeを活用してのアンケート調査によると、総社市の道路整備について「不満である」「どちらかといえば不満である」が65.9%だった。センターラインや白線が消えているとの意見が多かったが、その現状は認識しているか。

市長 昨年は20.4キロの白線の引き直しを実施したが、大半の市民は不満であると認識せざるを得ない。限られた予算で、道路予算を再考すべきと考える。

問 一級市道や市街化地域など交通量の多い道路から優先順位を付けて、計画的に白線等の引き直しを実施すべきではないか。

市長 計画性を持って安全な道路を作るのは大事なことである。

問 中東情勢による資材調達不安に対し本市事業者への情報提供と支援窓口設置が急務ではないか

答 本市企業誘致商工振興課に窓口を設けて事業者の方々からの相談に応じる



おお つき しん いち
大 月 真 一

防災対応について

問 避難行動要支援者に対する個別避難計画の策定率向上についてはどうか。

市長 本市には要介護3の方が2,127名おられ避難支援要求があるのは1,083名で個別避難ルートが策定できている方が329名(約30%)であり、今後更に増やしていく。

問 旧維新小学校は指定避難所として今後も使用できるのか。

教育長 今後民間業者に施設を貸与する場合でも避難所としての機能は保持させることを前提とする。

市庁舎について

問 夏季の熱中症対策として、市庁舎1階にウォーターサーバーを設置できないか。

市長 設置する。

問 駐車場に屋根付き通路を設置できないか。

市長 庁舎に付随する部分に屋根歩廊は設置するが、駐車場内には設置しない。

問 市庁舎1階の床面タイルに段差があり通行しにくいので改善が図れないか。

市長 問題だと思うので、考えさせてほしい。

伯備線100周年記念イベントについて

問 伯備線全線開通100周年となる2028年に向け、地域活性化につながる記念イベントを開催できないか。

市長 本市としても記念イベントをさせていただく。

問 近年、街路樹の撤去をはじめ総社らしい街並み景観が著しく損なわれている。要因は何か

答 主には歩道への根上がりと落葉などへの苦情に対応したことによる



か とう やす ひろ
加 藤 保 博

街並み景観について

問 水と緑は「心安らぐ街づくり」を指針としてきた本市の核となる部分であり現状を憂う声も非常に多い。苦情対応と緑の維持を両立させ従来からの景観を守ることが行政の執るべき姿勢と考えるがどうか。

市長 今後の対応については周辺の住民の方とも相談し検討したい。

問 カミガツジプラザは完成当時に国、県より表彰された市の代表的な施設である。多くの市木もみじが一面に枝葉を広げ、市民が誇れる空間であったが現状は荒廃した姿で放置されている。今後の対応はどうか。

市長 以前より気になっていた。植え替えなども含め、早急に対処したい。

郷土出身の輝く人々について

問 総社出身の俳優の山口馬木也さんは昨年度の国内各映画賞の主演男優賞を独占した。県をはじめ各報道機関も一斉に栄誉を称えたが肝心の本市では顕彰はおろか何の動きも見えない。考え方を聞きたい。

市長 公式ではないが連絡を試みた経緯がある。市として前向きに対処したい。

問 夢をかなえた郷土の先輩を母校などに招いてはどうか。子どもたちに計り知れない影響があると思うがどうか。

教育長 学校教育において最も重要な部分である。情報を集め実現に向け努力する。

問 水道・下水道料金値上げの市長から市民へのメッセージは等しく確実に届く必要があると思うが

答 動画は総社市公式LINEに投稿する



たけ した
竹 下 かな こ

市長の政治姿勢について

問 多彩な発信ツールを持ち、明るい話題は大々的にPRをしている市長が、水道・下水道料金25%値上げという市民に痛みを強いる決定が「指摘されてからの発信」になってしまったことはこれまでの市長の積極的な政治姿勢から見ればアンバランスであると言わざるを得ない。

市長 痛みを伴う情報についてよく市民に伝えられるよう心がけ、これまで以上に迅速に対応できるよう発信していく。

市内園児の安全確保について

問 市長の考える園内の安全確保とは。

市長 園児の人権と安心を守る、ゆとりある職員体制の確保、施設整備や外部からの不審者の侵入を防ぐ防犯対策などを一体的に進めることが必要。

問 市立園の効果的な施設、設備はあるか。

教育長 防犯カメラを幼稚園・認定こども園全園に設置。また、さすまた、ネットランチャー、催涙スプレー、防犯ブザーなど。

問 見守りカメラを設置してはどうか。

教育長 不適切保育の抑止と早期発見、事故発生時の記録、保護者の安心などに有効。一方、プライバシーの保護、職員の心理的負担など考えられる。導入した施設の調査、現場の声を聞き慎重に検討する。

問 本市の人口減についてどう思われるか

答 308人減少はきつい。若者の要望に応えられていない。若者に向けた施策をやっていく



問 人口減少に伴い、地域のつながりや地域福祉を支えている方々など、後継者不足や支援体制の在り方についてどう考えているか。

市長 民生委員児童委員の方々、安否確認・見守り訪問活動を現状勢力では一生懸命向き合ってくれている。

問 昭和・池田地区は、行政窓口・商店・診療所などの日常生活に必要な機能の維持と強化を図ると示されているがどのような考えか。

市長 利便性を上げるもの、スーパーマーケット・診療所・商店をできる限り誘致していくことに努めていく。

問 新水内橋はいつできるのか。また、現水内橋の活用はどうか。

市長 県の工事なので、私が主体的に言うことはできないが、具体的な整備時期が来たら議会を通してお知らせする。現水内橋は、地元の皆様から残してほしいと要望されている。これから検討していく。

問 幼稚園・小学校跡地活用について。跡地活用をどのように考えているか。

教育長 前任の教育長の方針と変わりなく、地域コミュニティの維持・にぎわいの創出で地域の活性化に深く資する利活用を考えている。

問 市民・職員の安全のため、窓口やカウンターへの安全カメラの設置はどうか

答 市民を守る、職員も守るため、カメラは設置する方向で考え直していきたい



セントラルロビーカフェについて

問 障がい者就労支援事業所の新規参入状況、カフェの運用は今後どうしていくのか。

市長 7月から「てのひらカフェ」をオープンする。販売を5事業所、カフェを4事業所、どちらも新規1事業所を迎え運営していく。

熱中症対策について

問 市立の幼稚園・認定こども園における登降園時の熱中症対策、日傘の使用はどうか。

教育長 水分補給の推奨や体調管理の確認、帽子着用を声かけている。日傘の利用については各園によって対応が異なっていたので、一定のルールを定めて使用を許可していく。

市庁舎について

問 職員の机配置を見直してはどうか。

市長 少し様子を見て検討していきたいが、今は現状で良いのではないかと考えている。

式典について

問 卒業式は厳粛な場であるが、上映方式の祝辞が子どもの集中や式の流れに影響を与えることについてはどう感じているのか。

市長 誠に申し訳なかった。これはコロナ禍に始まったことであるが、もうやめる。

問 今後の式典では代読対応とするのか。

教育長 教育委員会は卒業式、入学式共に出席者が祝辞を読み上げ、市は卒業式では代読、入学式ではメッセージを掲示する。市長が出席する式は自ら祝辞を述べる方向で考える。

問 国勢調査のデータを見ての市長の思いをお聞かせいただきたい

答 とても厳しい結果だと思うが、ある意味よく頑張っている数字だと思う



問 市内の人口格差が広がってきている中、人口減少地域が持続可能なコミュニティを維持するために何かお考えはあるのか。

市長 様々な手段を尽くしていく。例えば自由枠交付金、代役社中、道づくり予算等を駆使して支援していく。

教育環境について

問 児童生徒数が減少している地域の子育て世代、若者世代に今後の教育環境についてアンケートを実施してはどうか。

市長 今はその時期ではない。いろんな手立てを行いもう少し頑張る。

問 6年後予想できる児童生徒数の数字を見てもまだその時期ではないのか。

市長 まだその時期ではない。

	1	2	3	4	5	6	
池田	1	0	4	7	4	4	29
春小	17	11	6	7	15	12	68
神在	6	6	8	14	7	10	61
総計	22	19	28	14	26	22	129
新本	15	8	11	11	13	11	69

資料1 令和8年4月15日現在の児童生徒数

	1	2	3	4	5	6	
池田	2	1	0	3	2	5	13
春小	3	6	5	7	7	7	35
神在	2	12	9	8	6	8	45
総計	10	17	9	18	20	14	88
新本	1	1	2	2	4	2	12

資料2 6年後予想の児童生徒数

問 総社市教育委員会の目指す平和教育とは何か

答 平和を創造する担い手である自覚と責任感を持った子どもの育成を目指す



平和行政について

問 市長の平和への思いはどうか。

市長 戦争のない世界、平和な社会を築いていくこと、人類共通の願いであって、全ての地球上に住んでいる人々が願うべき、大きなテーマであると考えている。

問 核兵器廃絶や平和の取組はどうか。

市長 広島、長崎の被爆体験を風化させず、核兵器のない世界の実現と世界恒久平和を目指し、自治体でネットワークしている。平和行進への参加、平和に対する願いを継承するために、平和作文コンクールや平和展示や講演会などを開催している。

平和教育について

問 教育現場で行われている平和教育の取組はどうか。

教育長 戦争体験者の語り部講座や、広島、長崎、沖縄を訪れ、平和について考える学習を行っている。

問 今後、命を大切に、戦争をしない平和学習の機会を増やしてほしいと思うが教育長の思いはどうか。

教育長 小さい学年から発達段階において平和とは何かを教えていくことが一番だと思う。実際に戦地を歩いて、戦争体験者の話を聞き、本当に平和の大切さについて学ばせるよう、今後もより一層充実した平和教育を進めていく。

問 JR 伯備線三輪踏切の拡幅改良と凸凹解消により、通学・自動車通行の危険回避はできないか

答 現状のままでは駄目であり、改良は必要と思うが、JRとの協議などできることを検討したい



たかや ゆきお
高谷 幸男

教育について

問 幼・小・中や、スポーツ大会等屋内屋外での熱中症対策にどう対応するのか。

市長 体育館、特別教室への空調設備の設置とアリーナ、武道館へも空調整備をするなど、子どもたちへの暑さ対策を進めていく。

教育長 WBGT(暑さ指数)については、31以上は運動や特別対応とするため、ミストシャワー、テント、水分補給、健康観察などを安全第一に対応している。

ホテルの誘致について

問 市内に宿泊施設はあるものの、全国大会等の大規模大会を引き受けるための都市型ホテルの誘致は、是非必要と思うがどうか。

市長 是非とも誘致に取り組みたい。

孤独・孤立について

問 孤独・孤立者が増えている現状から、終活支援条例の策定はどう考えるか。

市長 最速で条例制定に向けて努力したい。

ユニチカ引込線について

問 引込線の撤去による人口増など、周辺の地域開発、発展は考えられないか。

市長 地元とよく相談したい。

岡山県備中保健所について

問 県備中保健所を誘致する考えはないか。

市長 協議は進んでないが、相談したい。

問 経年劣化による合併処理浄化槽の更新について、補助制度を設けるべきではないか

答 新たに補助制度を設け、議会に早急に上程したい



あらい まさのすけ
荒木 将之介

問 公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の導入費用や使用料、維持管理費はそれぞれの程度か。

市長 導入費用についてはおおむね公共下水道は43万円～93万円、農業集落排水は61万円～96万円の受益者負担。合併処理浄化槽は5人槽で約130万円の設置費用がかかるが、補助金があるため差し引き97万円程度となる。使用料は公共下水道・農業集落排水が平均的な4人世帯で年間5.5万円、合併処理浄化槽の維持管理費は年間6.9万円程度を個人で負担している。

問 合併処理浄化槽の耐用年数はどの程度で、これを経過したものは市内に何件か。

市長 おおむね30年程度であり、経過したものは756基ある。

問 合併処理浄化槽利用者は導入、維持管理の時点で公共下水等に比べ負担が大きい、更新にも多額の費用を要する。公平性を欠いていると考えるがどうか。

市長 公平性に欠けているという言葉は甘んじて受け止める。

問 市内の衛生環境を保つためにも、合併処理浄化槽の更新に補助制度を設けてはどうか。

市長 公共下水・集落排水との公平性を保つことが難しい部分でもある更新について、新たに補助制度を設けたい。

総務生活委員会

《6月定例会》

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案9件であり、全て原案どおり可決しました。(請願1件は採択)

●財産の取得について(議案第44号)

問 高規格救急自動車購入に当たり、必要と思われる主要装備品は何か。

答 前回更新した車両装備とほぼ同等となっており、県下で初めて導入した電動ストレッチャーを今回更新する車両にも装備している。

問 今後、高規格救急自動車更新される際には、全て電動ストレッチャーが装備されたものになるという認識か。

答 車両更新にあわせて順次導入を目指していく。



文教福祉委員会

《6月定例会》

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案6件であり、全て原案どおり可決しました。

●総社市体育施設条例の一部改正について(議案第45号)

問 この料金設定で空調の経費を賄いきれるのか。市の負担が多くなるのではないか。

答 料金の設定にあたってはランニングコストと年間の定期保守の費用に加え、インシヤルコストの一部も入れて算定している。そのため、多少使用頻度に変動があっても、空調稼働分の経費は賄うことができ、市の負担増にはならないと考えている。

●財産の取得について(議案第46号)

問 今回の学習者用端末の購入は更新であるが、前回導入時に比べて、今回の購入価格

はどれくらいか。また、国からの補助額はどうか。

答 前回の購入は1台あたりの価格が4万6090円で、国の補助額は4万5千円であったのに対し、今回は1台あたりの価格が6万3050円で、補助額は5万5千円が上限額となっている。物価高騰等で価格は上がっているが、性能も上がっている。



●令和8年度総社市一般会計補正予算(第2号)(議案第49号)(所管部分)

問 助産施設入所者措置事業について、どのように予算を組まれているのか。

答 毎年当初予算では1件分を計上しているが、さらに申請があった場合は補正予算を計上している。

産業建設委員会

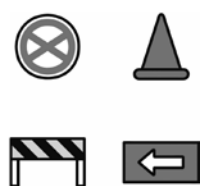
《6月定例会》

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案20件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は不採択)

●令和8年度総社市下水道事業会計補正予算(第1号)(議案第51号)

問 管路・マンホール更生工事について、ストックマネジメント計画を一部前倒しで実施することだが、元々の計画ではいつ行う予定で、実施場所はどこか。

答 令和9年度から計画していたもので、場所はまちかどの泉の交差点から武道館・総社警察署前交差点までのうちの2区間、約160メートルについて実施する予定である。



●令和8年度総社市一般会計
補正予算(第3号)(議案第
53号)

問 訴訟にあたり、どうしても弁護士に委託しなければならぬのか。

答 弁護士に委託しない場合は市職員が対応することとなるが、専門的な知識が相当必要となり、かなりの負担となるため、委託費用を予算計上しているものである。

問 日本弁護士連合会報酬等基準により算定したとのことだが、もう少し低い額で委託できる弁護士もいるのではないか。

答 今回はこの基準により標準的な経費として算定したが、実際には各弁護士事務所において額を定めることとなっており、行政訴訟や住民訴訟の分野において豊富な経験や実績を有する専門性の高い弁護士を選定したいと考えている。

委員会の会議録は令和5年分からHPで公開しています。

総務生活委員会→



文教福祉委員会→



産業建設委員会→



所管事務調査を実施しました

5月定例委員会で所管事務調査を行った案件は以下のとおりです

総務生活委員会(5月12日)

【報告事項】 総社市物価高騰対策重点支援金について/新庁舎建設事業の今後のスケジュールについて/旧雪舟荘の処分方法について

文教福祉委員会(5月13日)

【調査事項】 子どもの居場所について/教育現場でのカスタマーハラスメント対策について

【報告事項】 きびじアリーナ等への空調設備設置工事の進捗状況について/総社市部活動改革推進計画の策定について/令和8年度全国中学校体育大会の開催について/野口絵子さんの「そうじゃこども未来大使」任命について/教育特区・小規模特設校・預かり保育の利用状況について/令和8年度保育所等の利用状況及び待機児童等について

産業建設委員会(5月7日)

【報告事項】 農業振興地域整備計画策定の進捗状況について/市制20周年記念ありがとう商品券の結果について/主要路線・河川の整備状況について/総社三輪汚水幹線排水不良修繕の進捗状況について/総社市指定ごみ袋について/国民宿舎サンロード吉備路の営業再開について

編集後記

地域に長く住んでいても、まだ知らない魅力がたくさんあります。例えば、清音・山手地区の境にある「福山」。ハイキングコースとして市内外から人気を集めるこの山は、その特徴的な姿から「ワニ山」とも親しまれ、地域のシンボルとなっています。ワニの頭にあたる平らな部分は、戦国時代の山城「幸山(こうざん)城跡」であり、当時は敵の動きを見る要衝だったそうです。今でも吉備津神社まで見渡せるこの歴史の一端は、市民の皆様との触れ合いの中で教えていただきました。市民の皆様には、まだまだ私たちの知らないすてきな歴史や情報、そして市政へのご意見が数多くあることと存じます。今後とも、ぜひ多様なお声をお聴かせください。

(竹下かなこ)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長	三上 周治
副委員長	川 鱈 仁宣
委員	竹下 かなこ
委員	柴田 敏
委員	大月 真一
委員	林 恭一郎
委員	溝手 宣良

議員の紹介ページは市議会HPから確認いただけます。(議席番号順)

